

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成25年度第3回定例会会議記録
開催日時	平成25年6月26日(水曜日)午後6時30分から午後8時30分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：小林克彦、中曽根聡、渡辺文子、武司一郎、野間春二、馬場真由美、瀬川容子、糸山時子、西原みどり、真鍋五十鈴、新藤浩伸、上田幸夫 職員：田中館長、大平主幹、川口館長補佐、小笠原分館長、長谷部分館長、平井分館長 欠席者：畠山昭裕、野澤幸美
議題	1 第2回定例会の記録について 2 報告事項 (1)行政報告 (2)公民館だより編集室報告 (3)都公連委員部会運営委員会報告 3 事業計画書・事業報告書について 4 協議事項 5 事務連絡及び情報交
会議資料の名称	資料1 西東京市公民館運営審議会平成25年度第3回定例会次第 資料2 平成25年度第2回定例会会議録 資料3 都公連委員部会24年度活動報告 資料4 平成25年度東京都公民館連絡協議会事業計画 資料5 公民館だより編集室報告 資料6 平成25年度西東京市公民館年間事業計画 資料7 第54回関東甲信越静公民館研究大会兼第64回新潟県公民館大会等の確認について及び回答用紙 資料8 公運審コラム書き方例
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題1 第2回定例会の記録について 承認</p> <p>議題2 報告事項 (1)行政報告 ・平成25年度本予算について、6月12日～21日まで予算特別委員会で審議、25日本会議で承認。予算額は676億200万円。主な公民館費は専門員18人から24人、報酬増。谷戸公民館1階ロビー及びトイレ改修、柳沢公民館・図書館の排煙窓改修などを実施予定。 ・7月4日に千葉県浦安市から柳沢公民館に市民企画講座について視察研修に来る。 市民企画講座とは何か。需要はどうか。 市民が講座を企画し、公民館が上限2万円まで講師謝金を支払うもの。いつも満杯。</p> <p>(2)公民館だより編集室報告 報告書のとおり 谷口さんの講演は職員対象か。テーマは何か。 公運審委員の方もどうぞ。技術的な講義と公民館報の役割。</p> <p>(3) 都公連委員部会運営委員会報告 ・平成25年6月13日(木曜日)午前10時から正午、柳沢公民館で第2回会議を開催 ・第1回の委員部会研修は、8月24日(土曜日)午前中に上田幸夫委員に依頼した。</p>	

- ・現在、運営委員会で全体会の開催について協議中。例年全体会では資料2,3をお送りしている。
- ・委員部会では年3回の研修会を実施しているが、第2,3回目の研修会のテーマや講師について希望があれば、7月8日までに公運審事務局川口さんまでメールかファクスで。

議題3 事業計画書・報告書について

平成25年度公民館主催事業企画書（8件）

年間事業計画の中で防災講座があるが、成人と地域交流に分かれているが何か意味があるか。イクメンパパはどうか。

成人が多く参加するので成人に入れたが、参加はどなたでもいい。予算上の区分けもある。

保谷駅前：

- ・ドキュメンタリー映画を通して「今」を考える
備考欄に関連企画とある。それぞれの講座の関係性が見えていいのではないか。受講者にもわかるようなポスター、ちらしを作成したらいいと思う。
担当者が変わって職員間で議論している。

実務者が3名というのは3人でそれぞれの担当分野から打合せをして決めているのか。
新しい専門員が前職の経験などを活かして決めている。

公民館だより2面の女性の生き方講座なんかとも連動していて職員の力が発揮されているいい講座だと思う。

ありがとうございます。新しい専門員が6名増えて、新しい視点から、いろいろな角度から講座を組み立てている。

対象が児童から大人までとなっているが、全て児童にもわかる映画の内容なのか。

そういう切り口でやっている。たとえば第1回は夏休みの期間なので児童も参加を呼びかけている。内容は理解できると思う。

小学校5,6年も児童である。この子たちにも理解できる、親子で見てほしいという立案者の判断があるのであろう。

- ・保谷駅前公民館開館5周年記念ジョイントコンサート

備考欄に活動風景写真展と作品展示もやるということで、コンサートだけではなくプロセスというか関係性が見えて地味だけどいいことだと思う。

- ・人権講座「盲導犬についてのお話と歩行訓練体験」

○ひばりが丘：

- ・こわーいお話を聞く会

○田無：

- ・子どもを育てながら働く女性のための講座

柳沢：

- ・子どもリズム講座 親子でチアダンスを楽しもう！

親子でこの人数はこれはこれでいいが、チアダンスは子どもたちにすごく人気がある。こういう企画は他の公民館でも企画してほしい。

事業区分は予算の関係もあると思うが、幼児が参加できる講座で対象が青年期というのがなんかつながりがあるのか。誰に対して、何をしたいのかがみえない。この辺をもう少し詰めた方がいい

いのではないか。

わかりました。

・キッズアカデミー「クラフト体験編」

達成目標で、1も2も理解させる、築かせるという表現で、何々させるとある。学校教育の中でも何々させる教育から、主体性を持たせるものになっている。何々を提供していくという、築きの場を作っていくという意味合いで使っているとは思いますが。

貴重なご意見ありがとうございます。若い職員が担当している。報告します。

・防災訓練～地域と連携で

平成25年度公民館主催事業報告書（2件）

○田無：

・国際理解講座Ⅰ「市民として考える国際協力」

報告書の副次的効果を読んでとても感動した。知り合いも参加していて、とても良かったと聞いている。今年度の開催も楽しみだ。

西東京市公民館の中で連続で国際交流・理解をやっているのは田無だけだ。昨年あたりから自主グループ化するよう働きかけてきた。

目標達成度で1がBで非常に謙虚だ。今後の方向性で、国際政治、国際経済から一旦離れとあるが、離れる必要はないと思うが。

8年間やっている。国際感覚は重要だと思っている。リピーターの参加者はいる。小グループに分け講座の振り返りをする事で自主グループができた。

地域において具体的行動を起こす人材育成にまで至らなかった、とある。これはこれで重いと思う。何を目標にして何を達成できなかったということを書いてほしい。わかりにくい報告書だった。

評価のあり方について根本的に考える必要がある。事業評価について22年度に公運審で答申を出している。自己評価か、客観評価かなのか。担当者の評価を公的に示されていいのか。事業評価をめぐって見直した方がよいのでは。

昨年この計画書・報告書を提示しご説明をした。発展途上のものだ。改善していきたい。

目標達成度は担当者自己評価だ。これは一度担当者が整理し次に活かすためのものだ。次の事業にはこれを土台にする。積み重ねだ。無意味なものではないと思う。

22年度の資料があればいただきたい。

職員の仕事に対してどのように向き合ったかという評価であると思った。事業に対しての客観的評価を求めているものとは違うと感じた。繰り返しの議論が必要だ。

評価基準を定めた方がいいのでは。

客観的なものは報告書にない。ただその裏付けになるのがアンケートだったりする。それを総合的に判断して目標の達成度を判断する。

客観性が必要かというのも正直わからない。公民館の評価、社会教育の評価とは異なるのではないか。

○ひばりが丘：

・こども音楽講座－親子で音に合わせて愉しくリトミッカー

小さなお子さんを持ったお母さんが公民館に足を運び、公民館を知り、地域の深まりを高めるうえで大変重要なことだ。。音楽・絵本がキーワード。どこの公民館でもやってほしい。

議題4 協議事項

・54回関東甲信越静公民館研究大会について、本日アンケートを配布してある。本日中に○×をつけてご提出いただきたい。

・次回公運審で、公運審とは何かを始めとした説明を田無の小笠原分館長から説明をさせていただきたい。時間は午後8時から8時45分。資料は事務局で準備する。例えば公民館条例、規則、要綱や・諮問・答申関係、事業計画書、報告書マニュアル等。

- ・平成25年度東京都公民館連絡協議会事業計画をわかりやすく表にしました。これでよければ、7月1日から市民の皆さんに配布したいと思う。
表の中の分類の欄ははずした方がいいのではないか。
今年度はこの表でいって、来年度以降考えていくこととする。
ホームページにこの表は載せないのか。
検討します。
- ・質問書の件は廃止とすることを決定。

議題5 事務連絡及び情報交換

- ・公運審と専門員との交流について図っていただきたい。
公運審委員が各公民館の講座をみたいと思った場合、申込が必要か。
当日、職員に声かけしていただければ結構です。
 - ・5年に一度団体情報の見直しをしているが、今年度9月～3月まで登録届の再提出の準備を進めている。
- ・適正配置についてその後何か進展は。
現在PTで検討中。8月を目処に公運審に案をお示ししたい。企画当局と調整はしている。

次回の日程について

7月17日(水曜日)午後6時30分 於:田無公民館 第二学習室